

1. **北5西1・西2地区再開発の経緯**
2. **札幌駅交流拠点北5西1・西2地区再開発基本構想の策定**
(令和元年10月31日)
3. **札幌駅交流拠点北5西1・西2地区市街地再開発準備組合の設立**
(令和元年11月11日)
4. **新幹線札幌駅の計画変更** (令和2年1月16日)

1. 北5西1・西2地区再開発の動き

札幌駅交流拠点先導街区整備基本構想

【2017年2月】

→ 札幌駅交流拠点のまちづくりを先導し中核となる街区の整備や、各事業主体で検討が進められている関連事業に対する市の基本的な考え方について整理

札幌駅交流拠点まちづくり計画

【2018年9月】

→ 札幌駅交流拠点の再構築へ向けた目標・取組の方向を明確化
→ 市民・企業・行政等がまちづくりの目標・取組の方向を共有し、今後のまちづくりを協働して推進

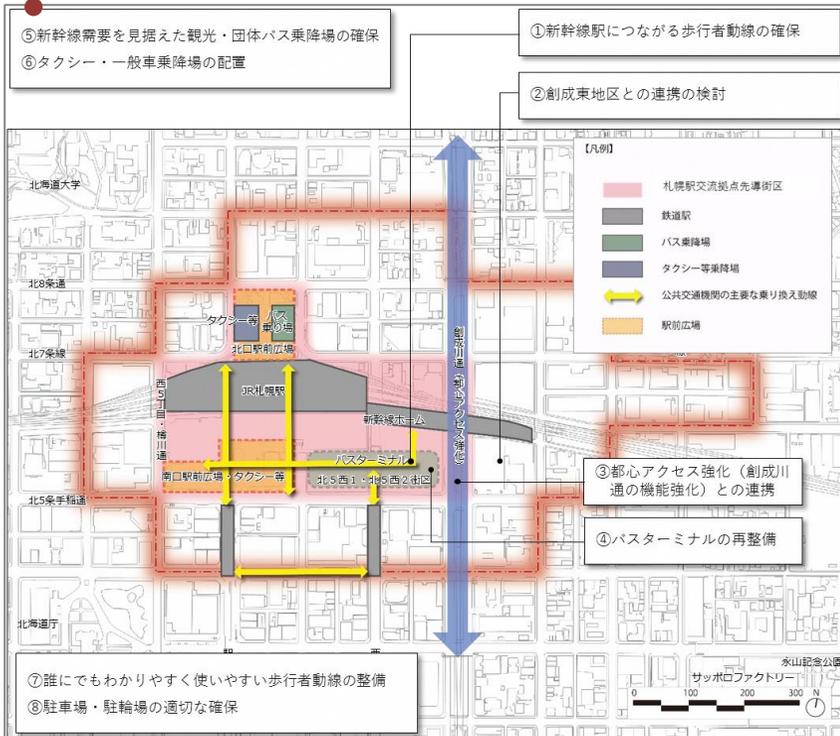
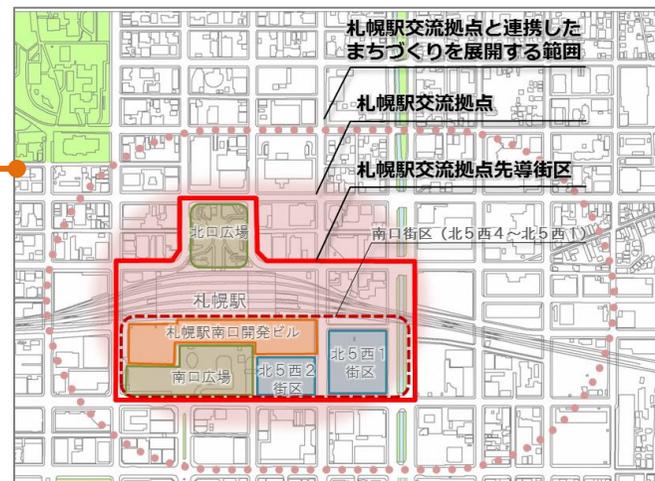
基盤整備の方向性（バスターミナル再整備について）

新幹線駅につながる歩行者動線の確保

- ⇒ 今後整備される新幹線駅をはじめ各交通施設が相互につながる乗換動線を整備。
- ⇒ 北5西1・北5西2街区の再開発をはじめとする周辺の再開発等と連携しながら交通基盤を整備。

バスターミナルの再整備

- ⇒ 北5西1・北5西2街区の再開発と一体的に利便性の高いバスターミナル施設の再整備。
- ⇒ バスターミナルは北5西2街区を基本とし、必要に応じて北5西1街区にも確保。
- ⇒ 札幌市と各都市の交通結節機能を強化するため都市間バスを集約するとともに、路線バスについても可能な限り集約。
- ⇒ バス利用環境の向上のため、快適な待合空間を確保。
- ⇒ バスターミナルの整備に合わせて、西2丁目線の自動車交通の円滑性確保について検討。



1 北5西1・西2地区再開発の動き

札幌駅交流拠点まちづくり協議会(H29.2~)

- 目的
札幌駅交流拠点まちづくり計画の策定に向けた意見聴取
- 委員
地権者、交通事業者、札幌商工会議所
札幌駅前通まちづくり(株)、政策投資銀、
関係行政機関(開発局・運輸局・道警)
- 事務局
札幌市



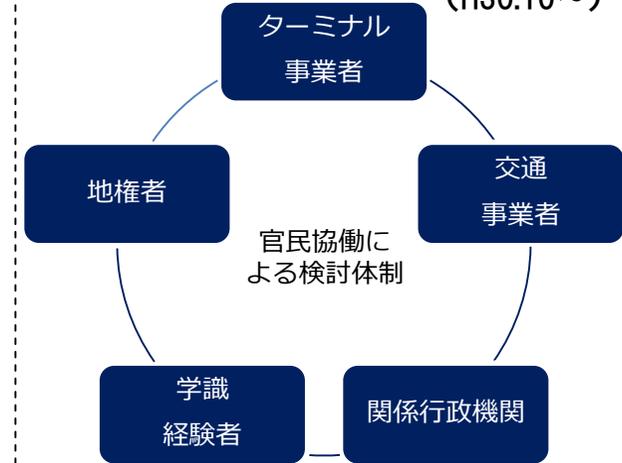
同協議会 基盤整備検討部会(H29.9~)

- 目的
札幌駅交流拠点まちづくり計画策定に向け、交通施設・基盤整備の方針に関して意見交換・検討を実施して結果をまちづくり計画に反映させる
- 委員
交通事業者、関係行政機関(開発局・運輸局・道警)
- 事務局
札幌市

札幌駅交流拠点まちづくり計画の策定
(H30.9)

札幌駅バスターミナル再整備に係る 技術研究会

(H30.10~)



官民の多様なメンバーによる
幅広い議論・情報共有

バスターミナルについて
関係者等による詳細な検討

北5西1・西2街区基本構想の策定

2. 札幌駅交流拠点北5西1・西2地区再開発基本構想 の策定

【概要】

- ・札幌駅交流拠点北5西1・西2地区再開発基本構想
- ・北5西1・西2地区の再開発にあたっての整備の基本的な考え方を明確化
- ・令和元年10月31日策定

【開発コンセプト】

世界へつながる“さっぽろ”の新たな顔づくり

【4つの視点】

街並み形成

道都札幌の玄関口にふさわしい新たなシンボル空間の創出

基盤整備

多様な交流を支えにぎわいを形成する交通結節機能の充実とバリアフリー化の推進

機能集積

北海道・札幌の国際競争力をけん引する都市機能の集積

環境配慮・防災

環境にやさしく災害に強い最先端の都心モデルの実現

2. 基盤整備

多様な交流を支えにぎわいを形成する交通結節機能の充実と
バリアフリー化の推進

① バスターミナルの再整備

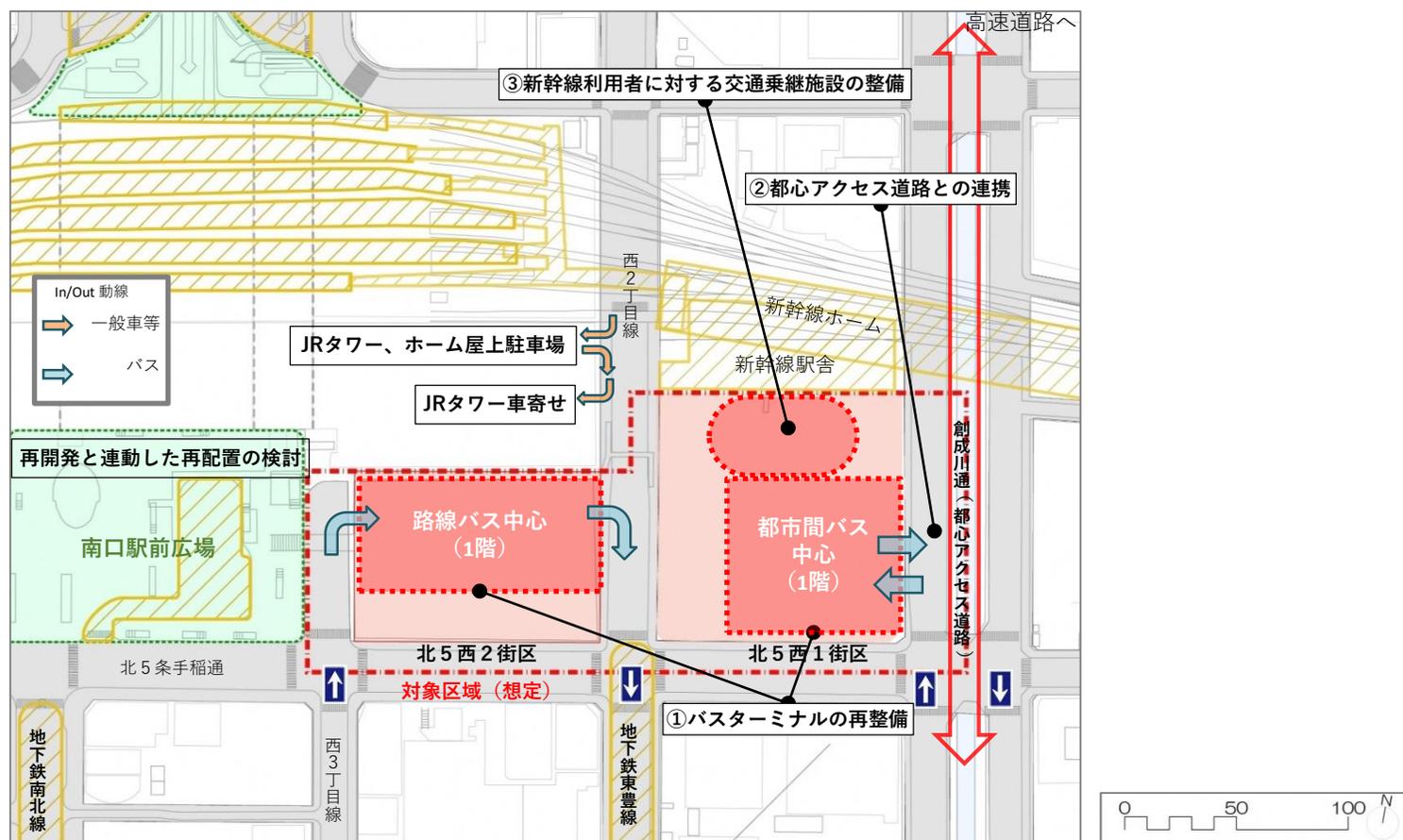
- ▶再整備するバスターミナルは、駅南口周辺に点在するバス停留所を**集約することを基本**とし、**北5西2街区は市内路線中心**、**北5西1街区は都市間中心**として、それぞれ**1階に配置**します。また、効率の良いバスターミナル運用を目指し、周辺交通の状況に配慮しつつ、2つの街区と併せ、エリア全体でバス乗降機能を確保することも検討します。
- ▶利用者の**待合空間**は、**両街区にまたがる**バスターミナルへのアクセスを考慮した配置を基本とするとともに、商業施設等との連携を図るなど、利用者の快適性と利便性が向上するよう検討します。また、交通運行情報をリアルタイムで提供するほか、災害や雪害の発生時も想定した情報の発信や施設機能の確保等についても検討します。
- ▶**北5西2街区**のバスターミナルには、**現状を踏まえ西3丁目線を北進して入り西2丁目線へ出て南進し**、**北5西1街区**のバスターミナルには、**創成川通からの出入り**をそれぞれ基本とします。
- ▶周辺の交通状況等に配慮し**西2丁目線**の円滑性確保策について、**南進一方通行化**を含めて幅広く検討します。
- ▶再整備するバスターミナルの規模は**22～25バース程度を基本**とし、駅周辺エリア全体で一般車駐車場、荷捌き、タクシー、車寄せ等の配置および必要な諸機能を考慮して配置を検討します。

2. 基盤整備

多様な交流を支えにぎわいを形成する交通結節機能の充実と
バリアフリー化の推進

① バスターミナルの再整備

【対象区域における整備方針の全体イメージ】 基盤整備イメージ 自動車動線



3. 札幌駅交流拠点北5西1・西2地区市街地再開発 準備組合の設立

準備組合（令和元年11月11日設立）

市街地再開発組合の設立を準備する権利者による任意の団体をいう。
準備組合は、再開発組合に準じた組織として設立され、以下の作業、諸手続を行う。

- ・ 施設計画、事業計画案の作成・検討
- ・ 導入機能の検討
- ・ 工事行程の検討
- ・ 交通基盤施設の所有・運営管理手法の検討
- ・ 権利変換計画案の作成・検討
- ・ 再開発組合設立に必要な作業・諸手続

名称	札幌駅交流拠点北5西1・西2地区市街地再開発準備組合		
理事長	札幌市	副市長	吉岡 亨
副理事長	北海道旅客鉄道（株）	取締役副社長	小山 俊幸
理事	札幌駅総合開発（株）	代表取締役社長	平川 敏彦
	ジェイ・アール北海道バス（株）	代表取締役社長	小玉 宏文
	J R北海道ホテルズ（株）	代表取締役社長	石見 誠嗣

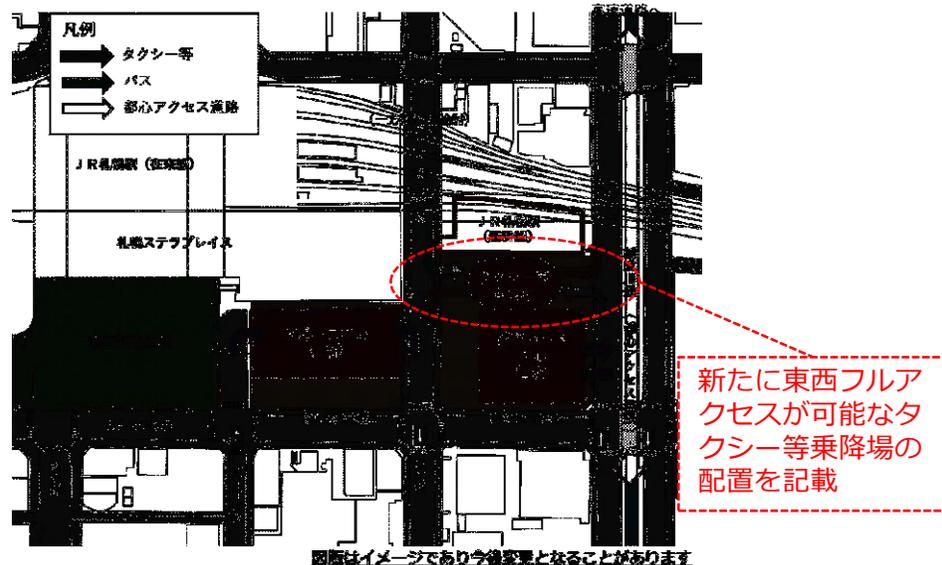


(札幌市・JR北海道共同記者発表資料より)

交通待合交流空間



基盤整備イメージ 自動車動線



東側からの鳥瞰



創成東地区との連携

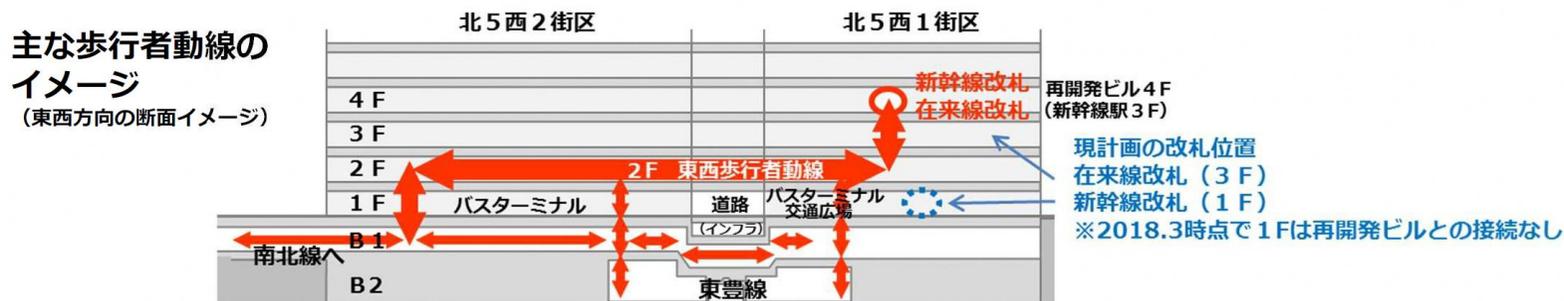


4. 新幹線札幌駅の計画変更

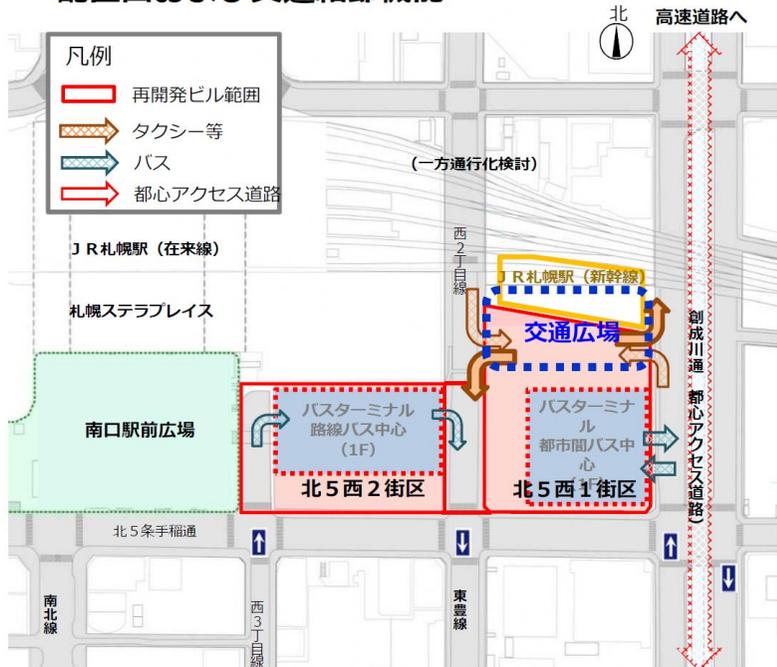
(JR北海道記者発表資料より)

1. 新幹線専用改札の位置 [交通広場及び北5西1街区の再開発との調整]

(図1)

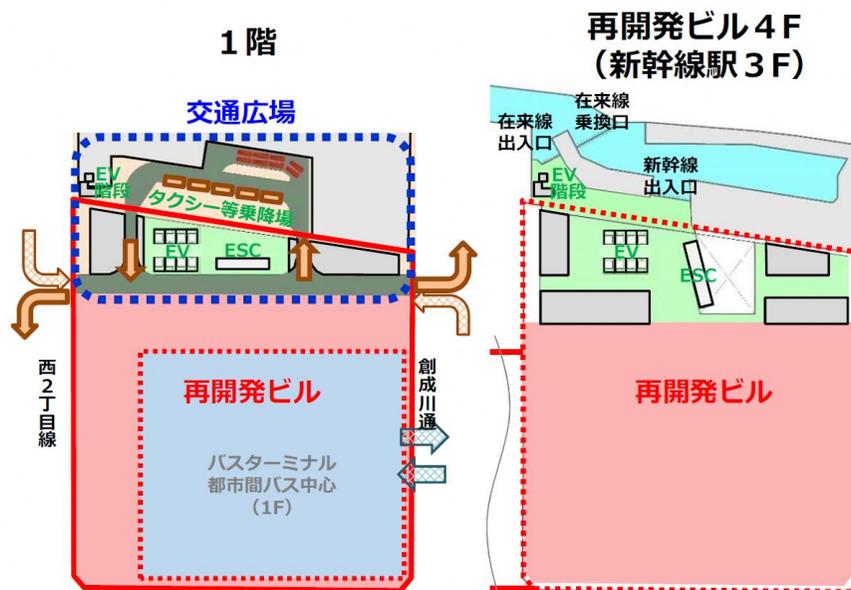


配置図および交通結節機能



図版はイメージであり今後変更となることがあります

北5西1街区平面図

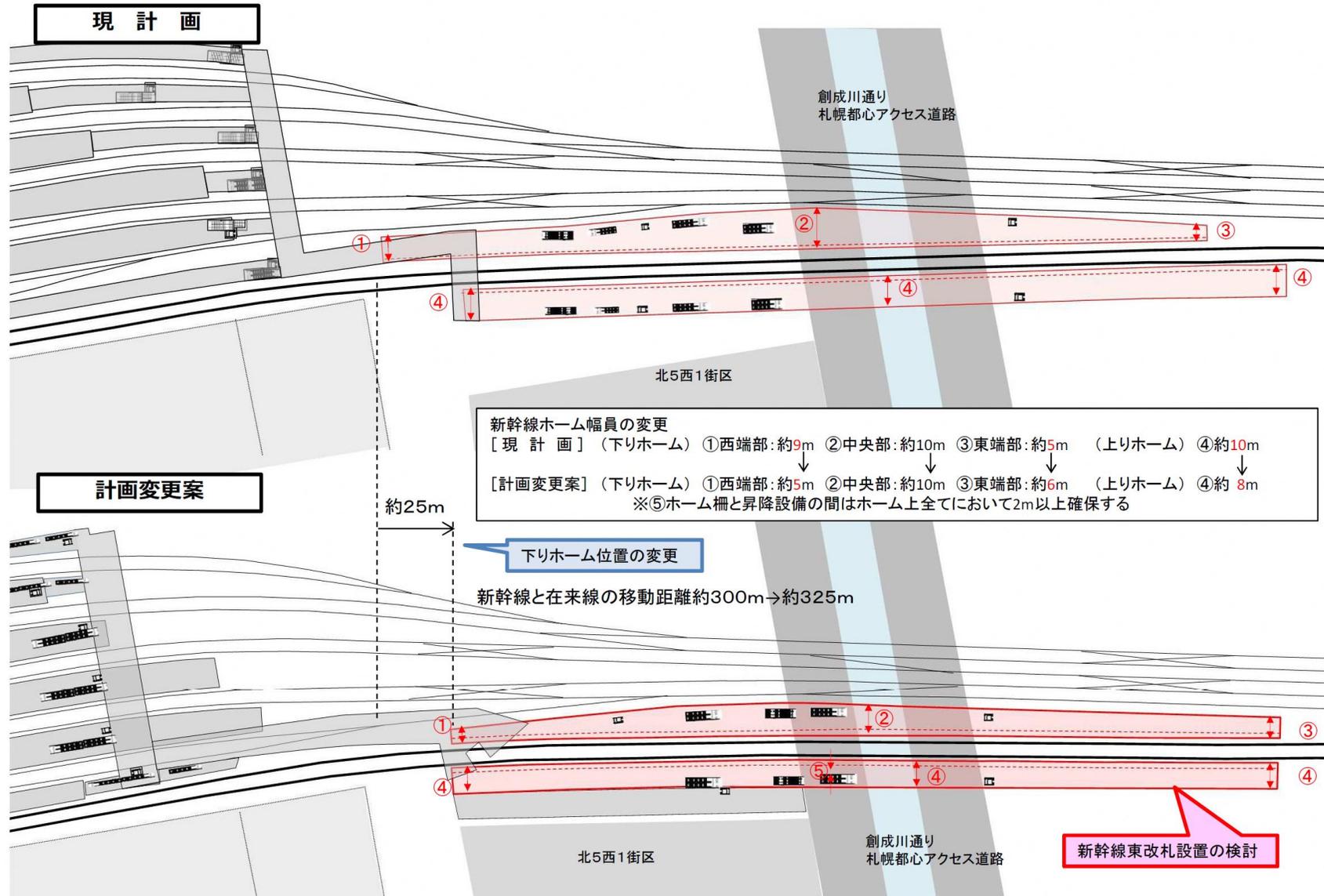


※旅客のスムーズな流動、利便性を最大限確保するよう、今後詳細な検討を行う

(JR北海道記者発表資料より)

2. 新幹線平面線形、ホームの位置

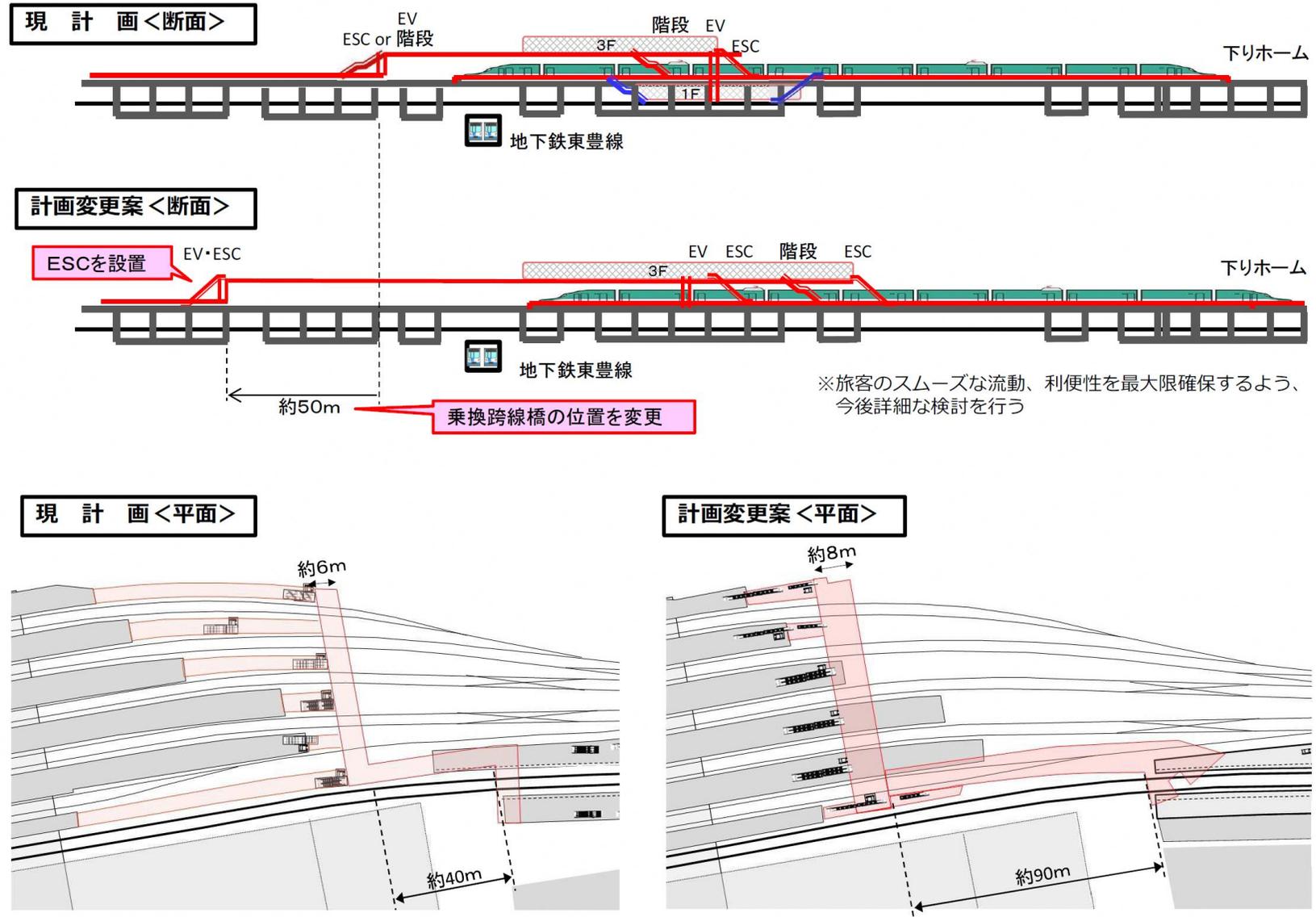
(図2)



(JR北海道記者発表資料より)

3. 在来線乗換跨線橋の位置

(図3)



(JR北海道記者発表資料より)

新幹線駅と再開発ビルとの接続部イメージ

新幹線とビル内が相互に見えるアトリウム空間（北5西1街区）

図版はイメージであり今後変更となることがあります

今後、新幹線駅舎の設計を行うため、図版は設計を反映したものではありません

